

令和7年度 浜松市立鴨江小学校 学校評価報告書

1 自己評価

自己評価結果、考察及び改善方策
別紙（学校便り）のとおり

2 学校関係者評価

2月12日（木）に開催した学校関係者評価委員会（学校運営協議会）において、自己評価結果及び考察、改善方策について委員に報告し、委員からは以下のような意見があった。

- ・ 息子の友達とのかかわりについて、担任から電話をいただいた。何かあったら大小かかわらず連絡をいただけて、非常にありがたい。
- ・ 総じて、保護者と児童の回答に10%の差がある。学校側で思うことはあるか。
- ・ 「鴨江小はいじめがなく子どもたちが安心して生活できる学校である」についての保護者の回答が、80%を超えている。4人に1人、このように感じていることについて多く感じる。実態はどうか。
- ・ 小さなことでも保護者に報告を入れるというお話があったが、例えば、頬をいきなり指でつつかれ、やられた子が泣いたとする。その場合、保護者に報告するのか。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・ 保護者と児童の回答に差があることについては、大人と子供で目指す姿が一致していないことが理由として考えられる。昨年度の事例で、子供たちは「あいさつができています」と感じていても、保護者は「あいさつができていない」ということがあり、それを子供たちに伝えると驚いた様子であった。このように、実態として自己肯定感が高いが、メタ認知にまだ課題が見られるため、今後も様々な方法で子供たちの本来の姿を客観的に伝える指導を心掛けたい。ただ、自己肯定感が高いことは悪いことではないため、自分の現在の姿と、認識のギャップを今後埋めていくようにする。
- ・ 地域からも保護者からも、いじめに対する関心が高く、引き続き丁寧な対応をしていく。被害者・加害者双方に起こったことを伝えているが、今後も小さいことから大きいことまで様々な事案を報告していく。どちらの子供の心にも寄り添って対応することを忘れずに指導をしていく。
- ・ どのような場合に保護者に連絡するかについては、それまでの経緯やその子供の様子等総合的に考えて判断していくが、子供たちや保護者とよりよい関係を築くために、授業や日々の生活でのかかわりを充実させていく。